

ニセコ白樺山周辺の山スキー

2016. 3. 12.

三佐川

L 三佐川 長倉 金澤（会員外） 山田（会員外） 江森（会員外）

スキーに興味のある方は地図を片手にこの文章をご覧ください。

3月になり、こここのところ降雪がなく気温も高めだったため、もうパウダーシーズンは終わりと諦めかけていた。早くも来シーズンに向けて楽しそうな斜面はないかと地図を眺めていたらニセコ白樺山近くに北向きの沢形を発見。岩内へと車を走らせると乾いていた路面が稲穂峠あたりから白くなりはじめた。雪も良い具合に舞っている。岩内の市街から R66 へ入りニセコパノラマラインへと登っていくと本格的な冬へと逆戻り。岩内のごみ処理場が除雪最終点でここに駐車。膝下ラッセルで道路を北上していくとやがて道路は右へとカーブするのでそのまま直進し樹林帯を真北へと進む。部分的に急斜面はあるが概ね緩い登りで途中ニセコパノラマラインを横切って進むとやがて疎林となり稜線が見えてきた。雪は止み太陽が顔を見せなまら気持ちイイ。稜線から右へ 10 分で晴れ渡った頂上と思いきや、アラアラ急にガスってまいりました。さっさとシールをはずし本命は後のお楽しみにして、まずは頂上から北面の浅い沢へメローな疎林帯へと突入。しか～し、やっぱり気温高めの 3 月の雪だわ。やや湿ったクリーミーな雪は板に絡みつきスローモーションビデオを見てるよう。景気づけにウハッとか叫んでみるが楽しくないぞ。むなしく響くのみ。そのうち曲げるのも面倒になり直滑降でなすがままに下っていくと道路が出現（標高 611）。R66 から分岐している新見温泉へと向かう R268 であった。シールをつけ東へとラッセルしていくと自分たちの登りのトレースへぶつかりトレース通りに進み再び稜線へ出た。天気は回復し春風が心地良いぞ。白樺山は右だが左の 931P に立つとお目当ての斜面が出てきた。予想通り急斜面だが上部はまっさらのオープンゆえ雪崩が怖い。この東向きの尾根から北向きの沢へは雪庇が発達して崖になっているため南東のコルへと滑り沢へ入ることにする。コルへ浅パウを気持ちよく滑りこむ。931P から見下ろすと、めっちゃ急に見えたがコルから見るとそれほどでもない。いよいよ北面の沢へ突入。するとさっきのクリーミーな重雪ではなくてパフパフのパウダー、斜度もあるので板も走る。写真やビデオ撮影をしつつ標高差 250m の粉雪を堪能いたしました。R66 にぶつかり左へ水平移動すると登りのトレースにぶつかり、あとは樹林帯をタラ～ッと滑って終了。稜線から見ると R66 周辺にはオープンな斜面がありまだまだ期待できそう。

下山後の温泉はいつものグリーンパークいわないではなく隣にあるサンサンの湯へ。昭和の香りがするシブい温泉であった。